

4 令和3年度予算における「かわさき10年戦略」の主な事業

川崎市総合計画における「かわさき10年戦略」では、まちに活気や活力をもたらす「成長」、市民に安心やうるおいを与え、まちに対する愛着を育てる「成熟」、成長と成熟の好循環を支える「基盤」づくりの3つの視点で、7つの戦略を設定しています。

ここでは、令和3年度予算におけるそれぞれの戦略の主な事業を紹介します。

また、本市は、SDGs^(※)の達成に寄与する取組を進めています。SDGsに関連する取組については、34ページを参照してください。

※SDGs（持続可能な開発目標）：国連において採択された、国際社会全体で取り組むべき世界共通の目標です。

戦略1 「みんなで守る強くなやかなまち」をめざす

～自然災害への的確な備えや日常生活を安心して過ごせる環境づくりの推進～

国土強靱化・地震防災戦略の推進

1,617,429千円

(+277,360千円)

大規模な災害が発生しても市民の生命や財産を確実に守るため、各種防災計画の推進、防災行政無線等の情報伝達機能の充実等により防災対策の強化を図ります。また、自らの生命は自ら守る意識の向上や、災害時に地域で助け合えるしくみづくりを行い、地域における自助・共助（互助）による防災・減災の取組を推進します。

★ 地域防災力の強化に向けた取組の推進

- ・各区複数回の総合防災訓練の実施
- ・「防災から始まる、力強いまち」の実現に向けた全市的な防災啓発
- ・自主防災組織への支援
- ・様々な災害に迅速に対応できるような体制の整備や各種防災計画の見直し

★ 防災行政無線等の再整備

- ・各種防災無線及びシステムの再整備による災害情報通信システムの機能向上



区総合防災訓練の様子

⑨…新規事業 ⑩…拡充事業

※金額の下段かっこ書きは対前年度増減額

まち全体の耐震化など

763,961 千円

(+32,967千円)

民間建築物等の耐震化の推進、密集市街地における不燃化建替えの推進等により、まち全体の耐震化などを図ります。

★ 民間建築物等の耐震化の推進 ⑧

- ・沿道建築物の除却・段階的改修を対象に加えた、特定建築物等の耐震診断や耐震改修工事への助成

★ 密集市街地の改善に向けた重点対策の推進

- ・不燃化推進条例に基づく老朽建築物の除却や耐火性能強化等への助成
- ・小田周辺地区での防災まちづくりの推進

災害時の拠点となる本庁舎等の建替え

6,263,976 千円

(+3,793,847千円)

本庁舎等について、市民の安全で安心な暮らしを確保するため、災害対策活動の中核拠点として、高い耐震性能と業務継続性を確保した新本庁舎への建替えの取組を進めます。

★ 本庁舎等建替えの取組

- ・新本庁舎の整備（令和4年度完成予定）



新本庁舎完成イメージ

上下水道機能の安定確保

17,033,797 千円

(△187,655千円)

大規模災害時でも水道と下水道がしっかりと機能するよう、施設の耐震化や老朽化した水道管路・下水管きよの更新を効率的に行うとともに、避難所となる小・中学校等に応急給水拠点を整備します。

★ 上下水道施設等の耐震化

- ・上下水道施設・管路・管きよ等の耐震化の推進
（令和4年度までに重要な水道管路及び配水池
・配水塔の耐震化を完了）

★ 応急給水拠点の整備

- ・既設給水栓を利用した開設不要型応急給水拠点の整備



気候変動への対応

4,682,325 千円

(+453,675千円)

地球温暖化対策の推進や大雨による水害を防止する施設の整備等により気候変動への対応を図ります。

★ 地球温暖化対策の推進

- ・脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」における市民・事業者の行動変容の促進 (新)
- ・庁舎等建物内照明のLED化による市役所の温室効果ガス排出量の削減 (拡)



脱炭素アクションみぞのくち

★ 五反田川放水路の整備

★ 浸水シミュレーション等に基づく効果的な浸水対策の推進

消防力の強化・救急医療体制の強化

1,882,376 千円
(+ 158,031 千円)

消防署所の改築や消防指令センターの更新整備を行い、消防体制の強化を図ります。

★ 消防署所の整備

- ・栗谷出張所の改築による防災活動拠点の整備

★ 消防指令センターの更新整備 (拡)

- ・消防指令システム機器のハードウェア及びバックアップ電源装置の更新
- ・大規模災害時における部隊運用改善等のシステムの一部機能強化



消防指令センター

安全対策によるまちの価値の向上

906,874 千円
(+ 38,022 千円)

多様な主体との協働・連携による防犯対策の強化や、自主防犯活動団体への支援を行うなど、犯罪の未然防止に向けた取組を実施するとともに、鉄道事業者と連携した鉄道駅や駅周辺の安全対策を進めることにより、安全・安心なまちづくりを進めます。

★ 特殊詐欺被害の未然防止の推進 (拡)

- ・高齢者に対する迷惑電話防止機器の無償貸与

★ LED 防犯灯の設置等の推進や防犯カメラの設置支援

- ・防犯灯の計画的な維持管理や新規設置の実施及び防犯カメラの設置支援

★ 犯罪被害者等支援に向けた取組 (新)

- ・有識者会議等の開催、条例化等の推進

★ 鉄道事業者と連携した安全対策等の推進

- ・鉄道主要駅におけるホームドアの設置に対する支援
- ・横須賀線武蔵小杉駅の下りホーム整備に関連した新規改札口設計等



ホームドア設置例 (京急川崎駅)

戦略2 「どこよりも子育てしやすいまち」をめざす

～子どもを育てやすい環境づくり・

地域全体で子育てを支える環境づくりの推進～

待機児童の解消

79,109,196 千円
(+1,616,678千円)

待機児童の解消を図るため、認可保育所等の整備のほか、民間保育所職員等への総合的な処遇改善の推進、認可外保育施設への支援の充実、保育士確保対策の充実等、保育の質の維持・向上を図りながら、あらゆる手法により取組を推進します。

★ 認可保育所受入枠の拡大 ④

395 か所 (30,460 人) → 416 か所 (31,840 人)

★ 地域型保育事業による受入枠の拡大 ④

78 か所 (1,033 人) → 90 か所 (1,238 人)

★ 保育士等の処遇改善の実施 ④

- ・認可保育所・地域型保育事業（小規模保育 A 型・B 型、事業所内保育）の経験年数 7 年目以上の職員を対象とした、国の処遇改善が的確に反映されるための市独自の 4 万円保障を実施
- ・病児・病後児保育施設における保育士・看護師の処遇改善

★ 特別な支援を必要とする児童の受入促進 ④

- ・幼稚園における預かり保育提供にかかる費用に対して支援を実施

★ 地域型保育事業等の卒園児への支援 ④

- ・地域型保育事業等卒園児に対する預かり保育利用料の補助を実施

★ 幼稚園における保育ニーズへの対応 ④

- ・認定こども園 12 園 (720 人) → 14 園 (840 人)

★ 幼稚園類似施設利用者への支援 ④

- ・幼稚園類似施設の利用者に対する保育料補助を実施

★ 保育士確保対策の推進

- ・リモートを含む就職相談会・保育所等見学事業等によるマッチング機会の充実



★ 認可保育所等の整備

1,317 人分（保育所 21 か所 1,245 人分、
小規模保育事業 4 か所 72 人分）

※上記の新規整備のほか、川崎認定保育園の認可化・小規模保育事業化や既存保育所の定員増等により令和4年度に向けて 1,562 人分の受入枠を拡大

★ 保育・子育て総合支援センターの整備

- ・宮前区内（土橋保育園・地域子育て支援センター） 仮園舎整備
- ・多摩区内（土淵保育園・地域子育て支援センター） 基本・実施設計

小児医療費助成制度の充実

4,620,212 千円
(△24,275千円)

子どもの健全な育成や子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入通院に係る医療費の自己負担分を助成します。

★ 小児医療費助成の実施

- ・通院医療費助成（小学校6年生まで）
- ・入院医療費助成（中学校3年生まで）
※平成31年1月 所得制限廃止



子どもがすこやかに育つ安全な環境づくり

7,529,612 千円
(+258,864千円)

子どもがすこやかに安心して育つよう、児童虐待の未然防止や支援が必要な家庭・子どもへの専門的な支援体制を充実します。

★ 児童相談体制の強化に向けた施設整備

- ・中部児童相談所の改築 基本・実施設計
- ・北部児童相談所の増築 実施設計
- ・こども家庭センター執務室の拡張 改修設計

★ ひとり親家庭支援施策の推進

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、特に大きな困難が生じているひとり親家庭等の親と子の将来の自立を支えるため、経済的支援を基盤として子育て・生活・就労・養育費確保・子どもの学習等、総合的な支援を実施
- ・養育費の立替払いを行う保証会社等の活用に係る手数料の一部を補助 ⑨

★ 小・中学校等における医療的ケアを必要とする児童生徒への支援 ⑨

健康給食の推進

11,178,933 千円

(+5,892,647千円)

将来を担う児童生徒が、生涯健康な生活を送るために、小中9年間にわたる健康給食の取組を進めるとともに、学校給食を活用したさらなる食育の充実を推進します。

★ 川崎らしい特色ある健康給食の実施

- ・野菜を豊富に取り入れ、食材や味付けにこだわった健康的でおいしい給食の提供

★ 小中9年間にわたる体系的・計画的な食育の推進



中学校給食献立コンクール
市長賞受賞献立（令和2年度）

地域の寺子屋の推進

94,832 千円

(+5,196千円)

地域ぐるみで子どもの学習や体験活動をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進めます。

★ 地域の寺子屋の開講 ④

全小中学校での開講に向けた事業の推進（新規開講予定13か所）

「分かる」授業の実現に向けた取組など教育改革の推進

802,302 千円

(+35,740千円)

子どもたちの生涯にわたる学びや暮らしの基礎となる「生きる力」を伸ばし、学ぶ意欲や態度を育むことを大切にしながら「確かな学力」を育みます。

★ 少人数学級（35人学級）実施に向けた取組 ⑧

- ・きめ細やかな指導体制の構築に向けた教育環境整備の推進

★ 「キャリア在り方生き方教育」の推進

- ・全校での将来の社会的自立に必要な能力・態度と共生・協働の精神の育成
- ・子どもたちが主体的に学ぶ力を育む「キャリア・パスポート」の活用

★ 新学習指導要領を踏まえた英語教育の充実

- ・ALT（外国語指導助手）の配置

★ 学校図書館の充実 ④

- ・小学校へ学校司書を配置 42校 → 56校



◎「かわさきGIGAスクール構想」の推進 ㊦

- ◆義務教育課程における1人1台のパソコン端末及び高速大容量の校内無線LANを活用し、誰一人取り残すことのない個別最適化された学び、創造性を育む学びを推進します。

(1,246,440千円)

学校施設的环境整備

11,639,090千円

(+3,898,938千円)

(※令和2年度補正予算対応 5,162,912千円)

学校施設長期保全計画に基づく学校施設の改修により、安全で快適な教育環境を確保するとともに、早期に学校トイレの快適化を進めます。また、児童生徒の増加に対応するため、校舎の増築や小学校新設に向けた取組を推進します。

★ 学校施設長期保全に向けた取組

校舎 **25校**【補正含む】

体育館 **9校**【補正含む】

★ 学校トイレの改修

工事実施 **46校**【補正含む】

(令和4年度までに全市立学校のトイレの快適化を実施)

★ 新川崎地区の小学校新設に向けた取組

基本・実施設計の実施



再生整備実施：長沢小学校

戦略3 「みんなが生き生きと暮らせるまち」をめざす

～健康寿命の延伸と安心して暮らし続けられるしくみづくりの推進～

総合的なケアの推進

8,099,350千円

(△1,706,504千円)

誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域を実現するため、「地域包括ケアシステム推進ビジョン」に基づく取組を推進します。また、介護サービス、障害福祉サービスの基盤整備に向けた取組を推進します。

★ 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組

★ 介護サービス・障害福祉サービス基盤の整備

- ・特別養護老人ホームの整備（令和3年度2か所完成予定）
- ・障害者通所施設（高津区：地域生活支援拠点）の整備に向けた取組の推進（令和5年度完成予定）

★ 地域リハビリテーションの推進

- ・総合リハビリテーションセンターによる全世代・全対象型の地域リハビリテーションの推進 **（新）**

★ 市立看護短期大学の四年制大学化に向けた取組

- ・四年制大学の開学に向けた取組の推進（令和4年度開学予定）

健康寿命の延伸に向けた取組

2,273,342 千円

（△106,478千円）

健康的な状態で長生きができるよう、国民病ともいふべき「がん」や生活習慣病を予防するため、がん検診等の受診率向上の取組を推進するとともに、介護サービスの質を評価する取組を実施します。

★ がん検診の受診率向上に向けた取組

★ かわさき健幸福寿プロジェクトの推進

- ・要介護度等の改善・維持の成果を上げた介護サービス事業所にインセンティブを付与する取組の実施



介護予防いきいき大作戦
マスコットキャラクター「長寿郎」

超高齢社会を見据えた住宅施策

4,259,383 千円

（+809,902千円）

誰もが安心して暮らせる住まいの確保等を図るため、住宅の質の向上や既存住宅の再生・利活用を促進するとともに、高齢者等に適した住宅の供給と入居支援、地域包括ケアシステムの構築に向けた市営住宅の活用等を推進します。

★ 社会経済状況の変化に対応した住宅施策の推進

- ・民間賃貸住宅等を活用した居住支援の取組
- ・空き家利活用の促進に向けた支援制度の実施

★ 市営住宅の建替えや地域包括ケアシステムの構築に向けた市営住宅の活用推進

- ・「市営住宅等ストック総合活用計画」に基づく建替え
- ・大規模建替えに伴う市営住宅用地の活用



中野島住宅

コンパクトで暮らしやすいまちづくり

241,146 千円
($\Delta 1,193,365$ 千円)

鉄道による地域分断の改善や踏切を横断する駅利用者の安全を確保するとともに、高齢化の進展など社会状況の変化を踏まえた路線バスネットワークの形成に向けた取組やコミュニティ交通の支援等を行います。

★ 路線バスネットワークの形成に向けた取組

- ・駅前広場の整備等を踏まえた、効率的かつ効果的な路線バスネットワークの形成に資する新規路線・路線見直し等の検討

★ コミュニティ交通の支援

- ・本格運行地区等における継続的な取組支援
- ・地域等への支援内容及びコミュニティ交通導入に向けた取組手順の見直し

戦略4 「もっと便利で快適な住みやすいまち」をめざす

～広域拠点・地域生活拠点等の整備による

鉄道駅を中心とした便利で快適な暮らしの実現など～

川崎駅周辺の整備

198,690 千円
($+88,613$ 千円)

民間活力を活かしながら、本市の玄関口としてふさわしい都市機能の誘導・都市基盤の整備等を進めます。

★ 京急川崎駅周辺のまちづくりの推進

- ・民間開発の誘導と都市基盤の再編整備の推進

小杉駅周辺の整備

97,387 千円
($\Delta 366,237$ 千円)

民間開発の適切な誘導と支援により、商業・業務施設、公共施設、都市型住宅等がコンパクトに集積し、個性と魅力にあふれた広域拠点の形成を推進します。

★ 小杉駅周辺における民間開発の誘導等

新百合ヶ丘駅周辺の整備

7,430 千円
($+1,430$ 千円)

横浜市高速鉄道3号線延伸計画など、周辺環境等の変化を見据えたまちづくりを推進します。

★ 新百合ヶ丘駅周辺まちづくり方針の策定

地域生活拠点等の整備

6,920,277 千円

(△1,263,727千円)

鉄道駅を中心とした商業、業務、都市型住宅等の機能の集積や交通結節機能の強化など民間開発の適切な誘導と支援により、都市機能がコンパクトに集約した都市拠点の形成を図ります。

- ★ 登戸土地区画整理事業の推進
- ★ 鷺沼駅前地区市街地再開発事業の推進
 - ・再開発事業に関する都市計画手続の推進
- ★ 柿生駅前南地区の再開発事業の推進
 - ・再開発事業に関する都市計画手続に向けた取組の推進

幹線道路網の整備・局所的な渋滞対策

10,296,474 千円

(△5,864,583千円)

道路交通の円滑化や渋滞緩和に向け、効率的・効果的に都市計画道路等の整備や連続立体交差事業等を推進します。

- ★ 都市計画道路等の整備
- ★ 緊急渋滞対策の推進
- ★ 国道 357 号などの国直轄道路の整備促進
- ★ 京浜急行大師線の連続立体交差事業の推進
- ★ JR南武線の連続立体交差事業の事業化に向けた取組の推進
- ★ (仮称)等々力大橋・末吉橋の整備



鉄道ネットワークの形成

99,109 千円

(△13,971千円)

鉄道ネットワークの形成に向け、鉄道事業者等と連携した取組を推進します。

- ★ 横浜市高速鉄道3号線延伸に向けた取組の推進
 - ・新百合ヶ丘駅及び中間駅周辺の基盤整備に係る検討等の推進

緑と水の循環形成

1,052,523 千円

(△189,138千円)

多摩川や多摩丘陵などの自然や農地を保全するとともに、都市公園や緑地などの整備を進め、うるおいのある豊かな市民生活の実現を図ります。

- ★ 多摩川の魅力を活かす取組の推進
- ★ 大規模な公園緑地の整備

- ★ 魅力的な公園の整備
- ★ 農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進

- ・ 特定生産緑地の指定の推進



多面的な機能を有する生産緑地

身近な公園のパークマネジメント

8,238 千円
(+ 5,238 千円)

民間活力の導入や地域との連携により、公園緑地の柔軟かつ多面的な利活用を促進しさらなる魅力向上や、効率的・効果的な管理運営の推進を図ります。

- ★ 公園緑地等の管理運営の推進

- ・ 王禅寺四ツ田緑地等における保全緑地の利活用と保全の好循環の創出 **新**

公共空間の有効活用

44,450 千円
(+ 34,447 千円)

都市拠点整備の進展をとらえ、道路などの公共空間を有効活用し、にぎわいの創出を図ります。

- ★ 川崎駅周辺の公共空間の有効活用に向けた取組の推進

- ・ 川崎駅周辺地区における公共空間の活用に向けた環境整備の実施



公共空間（道路）を有効活用したイベント

持続可能な循環型のまちづくり

16,689,205 千円
(+ 6,521,132 千円)

より一層の環境負荷の低減を図るため、廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再生利用）に取り組みながら、発生した廃棄物を適正に処理するため、処理施設を安定的に稼働させるとともに、長期的な視点で適切な更新を進めます。

- ★ 資源化処理の推進
- ★ ごみの適正かつ安定的な焼却処理
- ★ 処理施設の安定的な運営及び建替えの実施
- ★ 廃棄物発電の有効活用に向けた取組

戦略5 「世界に輝き、技術と英知で、未来をひらくまち」をめざす

～先端技術等による環境と産業が調和したまちづくりの推進や、

中小企業や商店街を応援する取組～

国際化に対応したイノベーションの推進

460,212 千円
(**△31,019 千円**)

様々な分野におけるイノベーション（革新）を推進するため、多様な主体による連携を図るとともに、イノベーション拠点の整備を推進します。

★ ライフ・グリーン・ウェルフェアイノベーションの推進

- ・ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）の運営支援及び研究を促進する戦略的な取組
- ・環境ビジネスの国際展開の支援
- ・Kawasaki Welfare Technology Lab（ウェルテック）の開設 **新**



ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）

★ オープンイノベーションの推進

- ・「新川崎・創造のもり」において、かわさき新産業創造センター（KBIC 本館、NANOBIK、AIRBIC）を拠点としたベンチャー企業等の成長を促進



産学交流・研究開発施設（AIRBIC）

★ Wi-Fi 環境の整備など ICT 施策の推進

- ・「かわさき Wi-Fi」の利用エリアの拡大
- ・「LINE」や「かわさきアプリ」を活用した情報発信



LINE 公式アカウント



臨海部の活性化

10,503,375 千円
(**△9,370,951 千円**)

力強い産業都市づくりの中心的な役割を担う川崎臨海部の活性化に向け、「臨海部ビジョン」に基づき、企業の操業環境の向上や産業競争力の強化に向けた新たな制度運用、殿町国際戦略拠点（キングスカイフロント）におけるイノベーションの創出、戦略的な土地利用の誘導などの取組を推進します。さらに、産業活動を支える交通や港湾機能の強化に取り組みます。

★ 臨海部の競争力強化

- ・臨海部の基幹産業の高度化・高機能化を促進する投資促進制度の運用開始 **新**

★ 国際戦略拠点の形成・マネジメント

- ・研究成果から自律的に新たな産業が生まれる「エコシステム」の構築を目指した取組の推進 ④
- ・立地機関の研究・事業活動の活性化支援や市内産業への波及に向けた取組の推進
- ・キングスカイフロントの高水準・高機能な拠点整備

★ 臨海部の土地利用の推進

- ・南渡田地区における高度かつ最先端の研究開発や価値の創出を行う新産業創出拠点の形成に向けた取組
- ・臨海部の持続的な発展につなげる大規模土地利用に向けた取組の推進 ⑤



空から見た川崎臨海部と羽田空港

★ 交通機能の強化

- ・新たな基幹的交通軸(BRT等)及び交通拠点整備に向けた取組の推進 ④

★ 羽田連絡道路の整備

- ・キングスカイフロントと羽田空港周辺を結ぶ羽田連絡道路の整備の推進(令和3年度完成予定)

★ 臨港道路東扇島水江町線の整備

★ 港湾物流機能の強化

- ・東扇島堀込部の土地造成に向けた取組
- ・川崎港コンテナターミナルの利用促進・活性化に向けた取組 ④

水素社会の実現

19,841 千円
(+3,469千円)

水素社会の実現に向けて、「川崎水素戦略」に基づき、臨海部における水素供給システムの構築、多分野にわたる水素利用の拡大及び水素に対する社会認知度向上に向けた取組を推進します。

★ 水素ネットワークの構築

- ・水素利用拡大や水素パイプライン等を活用した水素ネットワークの構築に向け、国や企業等と連携したプロジェクトの創出・推進
- ・臨海部エリアの低炭素化に向け、臨海部ビジョンに掲げる低炭素型インダストリーエリア構築に向けた取組の推進 ④

★ 社会認知度向上

- ・市民や企業に向けた水素に関する情報発信



使用済みプラスチックから水素等を製造するプラント(昭和電工川崎事業所)

中小企業の支援・商業の振興

31,082,610 千円

(+10,142,099千円)

中小企業活性化条例に基づき、地域経済の発展に大きく貢献する中小企業の技術力・製品開発力の強化や販路拡大・新事業創出の支援等、中小企業の活性化に向けた取組を行います。

★ 市内中小企業・商業等の支援

- ・起業家支援拠点 K-NIC などによるベンチャー企業の創出・成長を支援
- ・オンライン開催による展示会への出展等の「新しい生活様式」に対応した販路拡大支援 ④
- ・多様な手法による事業承継及び事業継続計画策定の一体的支援と、ワンストップ型の経営相談窓口による支援 ④
- ・新型コロナウイルス感染症の影響に対応した制度融資による支援 ④
- ・新型コロナウイルス感染症の影響に対応した利子補給による支援 ④
- ・新型コロナウイルス感染症の影響に対応した商店街団体等への支援 ④
- ・他の自治体等との連携による知的財産を活用した新製品開発等の支援
- ・海外展開に向けて行う自社コンテンツの多言語化等を支援 ④

★ 中小企業の労働環境の改善

- ・「新しい生活様式」や多様なワークスタイルにあわせた中小企業の生産性向上と働き方改革の支援 ④

都市農業の振興

21,951 千円

(+3,789千円)

持続的・自立的な農業経営を支援するため、地産地消の推進や農業経営の高度化及び新たな農業価値創造の取組等を推進します。

★ 都市農業振興施策の推進

- ・認定農業者に対する経営基盤強化への支援及び多様な主体との連携による都市農業活性化の取組の推進 ④

就業の支援

104,222 千円

(+35,731千円)

雇用のミスマッチ、若年無業者、就職氷河期世代等の課題に対応するため、雇用情勢等に合わせ、求職者のニーズに応じた就業支援を行います。

★ 総合的な就業支援の実施及び多様な人材活躍の推進

- ・キャリアサポートかわさきの求人開拓員増などによる就業支援の強化 ④
- ・コネクションズかわさきによる若年無業者等の職業的自立支援の強化 ④
- ・就職氷河期世代への正規雇用に向けた就業支援の実施 ④
- ・求職者支援との連携を強化した中小企業の多様な人材確保・活躍支援 ④

戦略6 「みんなの心がつながるまち」をめざす

～東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした

スポーツ・文化芸術の振興、「心のバリアフリー」の推進など～

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくり

870,360 千円
(+56,639千円)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくりのためにかわさきパラムーブメントの取組を推進するとともに、大会に向けた英国事前キャンプの受入や機運の醸成、ホストタウンの取組や、若者文化の発信のためにイベントの開催支援や体験会などの開催、施設整備に向けた取組を推進します。

また、令和元年 12 月に制定した「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」に基づく取組を進めます。

★ 大会を契機とした「かわさきパラムーブメント」の推進

・理念の浸透に向けた事業展開

イベントの開催やロゴを活用したプロモーションなどの戦略的な広報により、多様な主体の参加を得ながら「かわさきパラムーブメント」の考え方を広く市民や事業者に向けて発信し、理念浸透を図ります。

・レガシー形成に向けた取組

「かわさきパラムーブメント第2期推進ビジョン」に基づき、各種取組を推進していきます。また、かわさきパラムーブメント推進協議会を通じて各種団体等における取組の情報共有等を図るとともに、多様な主体が連携して取り組んでいくための支援を行います。

さらに、e スポーツを障害の有無に関わらず、仮想空間で誰もが一緒にスポーツを「する」、「みる」ことができるツールとして活用し、各種団体等と連携しながら、レガシー形成に向けた取組を進めます。

★ 事前キャンプ受入及び機運醸成の推進

・英国オリンピック・パラリンピック代表チームの事前キャンプの受入及び運営支援に向けた取組を着実に進めます。また、受入前から大会終了後までの期間を通じて、市民や事業者と一体となって、様々な英国応援や機運醸成に向けた取組を行います。

・国が進める「ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策事業」に基づく対策を推進します。



★ 若者文化の発信

- ・若者文化の創造発信拠点の整備に向けた取組や、ちどり公園への施設整備に向けた検討 ㊦
- ・ダンスやBMX、スケートボード等のストリートカルチャーやエクストリームスポーツなどが結集した川崎発の世界的な大会開催の支援
- ・地域における認知度向上や機運醸成を図るためのデモンストレーションや体験会の開催



スケートボードの体験会の様子

★ 平等と多様性を尊重した人権・平和施策の推進

- ・「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」に基づく取組の推進
- ・「多文化共生社会」の実現に向けた取組の推進

スポーツ・文化芸術の振興

2,587,221 千円

(△3,084,459千円)

スポーツを通じた市民生活の充実と、スポーツ資源を活用したまちづくりを進めるとともに、誰もが文化芸術を楽しむことのできる「アート・フォー・オール」のまちづくりを目指す取組を進めます。

★ スポーツのまちづくりの推進



★ 市民の文化芸術活動の振興 ㊦

- ・「新しい生活様式」を踏まえた文化芸術振興の取組の推進
- ・パラアートに関する取組の推進



ミュージザ川崎シンフォニーホール

★ 音楽や映像のまちづくりの推進

- ・「ミュージザ川崎シンフォニーホール」を活用した「音楽のまちづくり」の推進
- ・関係団体との連携のもと、かわさきジャズや坂本九生誕80周年記念事業など市内の音楽や映像に関する資源を活用した取組の実施



★ 橋樹官衙遺跡群の保存・整備・活用の推進

- ・「国史跡橋樹官衙遺跡群保存活用計画」に基づく史跡指定地の公有地化及び活用・調査研究の推進
- ・「国史跡橋樹官衙遺跡群整備基本計画」に基づく史跡整備の推進



橋樹官衙遺跡群整備イメージ (整備基本計画)

協働により、心がつながるコミュニティづくり

1,927,967 千円
(**△1,057,866 千円**)

誰もが暮らしやすく支えあえるコミュニティづくりのため、様々な主体の協働・連携のしくみをつくり、地域における多様なつながりを育みながら、市民自治と社会的包摂の進んだ、誰もが積極的に社会に参加できる環境づくりを進めます。

★ 多様な主体による協働・連携のしくみづくり ⑧

- ・「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、区域レベルの拠点となる場「ソーシャルデザインセンター」の創出の検討、モデル事業の実施、及び多様なつながりを育む地域の居場所「まちのひろば」の創出に向けた取組の推進
- ・区民会議のリニューアルに向けた「新しい参加の場」の試行実施

★ 町内会・自治会の活動を支える取組の推進

- ・地域コミュニティ力向上に向けた町内会・自治会の魅力発信
- ・新型コロナウイルス感染症に負けない町内会・自治会の活性化支援



「まちのひろば」ロゴマーク

★ 地域の活動拠点としての学校施設の活用推進

- ・学校施設の更なる有効活用を図る取組の推進

シティプロモーションの推進

313,989 千円
(**△20,185 千円**)

市民が愛着と誇りを持ち、誰もが訪れたい川崎を目指すため、地域資源を磨き上げるだけでなく、新たな地域資源の発掘・創出に取り組むとともに、川崎の魅力が広く伝わる戦略的なシティプロモーションを推進します。

★ 川崎の魅力を活かしたシティプロモーションの推進

- ・ブランドメッセージ等を活用した戦略的な情報発信

★ 川崎の特性を活かした観光の振興

- ・観光協会や民間事業者等と連携した取組
- ・「かわさき きたテラス」観光案内所における多言語による観光情報の提供
- ・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえたマイクロツーリズム及びインバウンド需要を取り込むための下地作りを推進する「ナイトタイムエコノミー」の取組

2021年川崎市ブランドメッセージポスター



2019年度「ステキな施設の認定案内所」に選ばれた「かわさき きたテラス」

戦略7 「チャレンジを続け、いつまでも活力あふれるまち」 をめざす

～市役所全体の質的向上と持続可能なまちづくり～

行財政改革の推進

市民満足度の一層の向上に向け、必要な経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報の確保等を行い、総合計画に掲げる政策・施策を着実に推進するため、市民サービスや市役所組織・職員の質の向上等の質的改革とともに、効率的・効果的な行財政運営に向けた改革を進めます。詳細は、36 ページ「5 行財政改革の取組」を参照してください。

「働き方・仕事の進め方改革」と「デジタル化」を推進しています

○働き方・仕事の進め方改革について

- ◆複雑化・多様化する本市の課題に対応していくため、これまでの「働き方」と「仕事の進め方」を変えていくことで、職員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現と多様な働き方を可能とする職場づくりを進めながら、将来にわたり、よりよい市民サービスを安定的に提供していくことを目指します。
- ◆平成 29 年度から年度ごとに策定する「川崎市働き方・仕事の進め方改革推進プログラム」に基づき、全庁的に次の取組を検討・推進しています。

取組例

- ・定型的・反復的業務の総務事務センターへの一層の集約化
- ・外部の専門的知見を活用した業務分析・改善
- ・新本庁舎整備を見据えたペーパーレス化の取組
- ・モバイルワーク・テレワーク、オンライン会議の推進 など

○「新しい生活様式」を踏まえたデジタル化について

- ◆新型コロナウイルスの影響による社会全体の行動変容に対応していくため、非接触を念頭においた市民サービスへの転換や感染症拡大の際の業務継続性の向上など、「新しい生活様式」を踏まえ、スピード感を持って「デジタル化」を推進していきます。

取組例

- ・令和 4 年度末までの行政手続等の原則オンライン化
- ・相談業務等のオンライン化の推進
- ・区役所に来庁して手続を行う際の申請書のデジタル化
- ・窓口におけるキャッシュレス化の推進 など



健全な財政運営

少子高齢化の進展を見据えて、将来の負担を適正な水準に保ちながら、必要な市民サービスの提供と投資を行います。詳細は 150 ページ「今後の財政運営の基本的な考え方」を参照してください。

「SDGs 未来都市」としてSDGsの達成に寄与する取組を推進しています

〇本市のSDGsの取組について

- ◆平成31年2月、「川崎市持続可能な開発目標（SDGs）推進方針」を策定し、総合計画を推進することを基本に、SDGsの達成に寄与する取組を進めています。
- ◆令和元年7月、政府から「SDGs 未来都市」の選定を受け、環境・社会・経済の三側面の統合を図りながら、川崎発の優れた取組を国内外に発信しています。



川崎市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

〇令和3年度のSDGsに関連する主な事業

- ◆「SDGs 未来都市」の取組の推進
 - ・「川崎市SDGs登録・認証制度」やプラットフォームの運用をスタートし、多様なステークホルダーの連携・協働を推進します。（拡充）
- ◆地球温暖化対策の推進
 - ・高津区役所等に再生可能エネルギー電力を導入し、市民・事業者への普及を促進する等、脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」に基づく取組を推進します。（新規）
- ◆市内企業の働き方改革・生産性向上の更なる推進
 - ・「新しい生活様式」や多様なワークスタイルにあわせた中小企業の生産性向上と働き方改革の取組を支援します。（拡充）
- ◆多様な人材の育成・活躍の推進
 - ・市内中小企業の多様な人材の活躍を支援します。（拡充）
- ◆介護現場を支える人材の確保
 - ・福祉人材の確保に向けて、介護ロボット等の整備費を補助します。（新規）
- ◆木材利用の促進
 - ・国産木材の消費地として、利用促進や普及啓発の取組を進めます。
- ◆臨海部の産業競争力強化に向けた取組
 - ・臨海部の基幹産業の高度化・高機能化を促進する新たな投資促進制度の運用を開始します。（新規）



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



川崎市ホームページ「SDGs 未来都市」
<https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/54-10-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

